感動県政 あさのめ 新聞

埼玉県議会活動報告 2018.10.11 vol. 62

発行 埼玉県議会 立憲・国民・無所属の会 さいたま市浦和区支部 〒330-0043さいたま市浦和区大東1-11-1-501

平成29年度埼玉県決算発表

埼玉県は8月10日、昨年度（2017年度）の一般会計決算を発表しました。

歳入は、昨年度から29億円増の1兆8377億円。構成の中軸となる県税が、納税義務者約6万人増加により48億円の増加、また株価上昇基調で株式等譲渡所得割増加により58億円の増収となりました。

納税率は市町村の徴収対策の取り組みにより、7年連続で上昇し、97・8％と過去最高を更新しました。

歳出は、昨年度から297億円増の1兆8295億円。民生費は医療、介護など社会保障関連経費が131億円増加しました。国民健康保険財政の安定化に向けた基金への積立金は、113億円と前年度から89億円の増となりました。土木費はラグビーワールドカップ2019の会場設備や河川費・道路橋梁費を含む公共事業などとして121億円増加しました。

2017（平成29）年度埼玉県決算ポイント

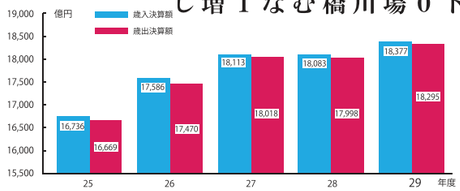
※（　　）は対前年度比

◎ 歳入・歳出は約1兆8千3百億円で、平成10年度、11年度に次いで過去3番目に大きい規模

歳入総額　1兆8,377億円（＋294億円　＋1.6％）

歳出総額　1兆8,295億円（＋297億円　＋1.6％）

歳入歳出決算額の推移



前回の知事選が近づいた時、「上田を弱体化させ自民候補を優勢に」と左のような党略の攻撃が続きました。しかし、自民候補は大敗。上田知事は四選を果たしました。民意は示されましたが自民の怨念は溶解しません。本会議場で質問する自民は知事を無視。予算委員会では4会派の抗議のなか要綱を変え知事発言を失わせました。「知事の肉声聞き議論せよ」と自民の横暴に対し、今でも県民の不安の声が巻き起こっています。

ケンカばかりで教育置き去り

障害者雇用水増し問題とは、今年全国で発覚した不祥事です。27省庁、37府県、1政令市、5市町村、2県警本部で障害者手帳の交付に至らない等、該当しない者を障害者として雇用し、同雇用率が水増しされていた問題です。

自民は10月3日、県教育委員会による、障害者雇用水増し問題をめぐり、県議会で小松弥生教育長に問責決議案を出しました。

自民は小松氏に対し「作為的に拡大解釈し、重大な法令違反が常態化していた悪質な事案」と断じ、また「障害者でない者を障害者としたのは人権侵害」等の信じられない認識でも攻撃しました。

私は「全国で起こっており、教育長一人の作為ではなく、一人の責任に帰す問題ではない」と強く反対しました。

しかし、賛成多数で可決。教育長の問責決議が可決されたのは初めてでした。

10月5日、文教委員会では、正にこの障害者雇用問題が議論される予定でしたが、自民は小松教育長の出席を拒みました。

教育長不在の委員会という異常な事態が起きました。「ケンカばかりで教育置き去り」と県民から不満の声が出ています。

自民 執拗に不毛なバトル

10月3日【小松教育長に「問責決議」突き付ける】

10月5日【文教委員会へ小松教育長の出席拒む】

「新たな森」整備事業止める

みどりの少ない都市部で、新たな森公園を整備する事業。

平成25年2月定例会で予算案を可決しましたが、突然同年9月定例会で、自民が「重大な瑕疵がある」として、「事業執行の停止を強く求める」と決議案を提出した。

これにより、同事業は平成26年12月定例会で解除が決議されるまで、1年3ヶ月ストップした。

小児医療センター工事ストップさせる

県立小児医療センターをさいたま新都心へ移転させ新病院を整備する事業。

平成26年2月定例会で「瑕疵がある」として、予算案に自民が反対。同年4月臨時会で、再度知事が原案と同額の予算案を提出。自民今度は賛成。3週間、建設がストップした。

埼玉県立小児医療センター

教育基本計画 空白生じさせる

平成26年度～30年度までの5年間の埼玉教育の基本目標と施策の体系を定めた計画。

平成26年2月定例会で「慎重審議する必要ある」として、自民が継続審査を求めた。同年6月定例会で、自民が修正案を提出して可決した。

約3ヵ月もの間、埼玉県の子どもたちの生きる力を導く同計画の空白が生じてしまった。

土地交換事業 こちらも呑め

さいたま市が進める大宮駅東口の公共施設再編に協力するため、埼玉県大宮合同庁舎敷地とさいたま市大宮区役所別館敷地を交換する事業。

平成26年6月定例会で可決したが、自民が推進する埼玉スタジアムへの新駅先行整備を前提とする地下鉄7号線延伸計画などを引っ張り出し、さいたま市議団に強引に同調を求めた。

知事に答弁させない 全国唯一の県議会

知事選後の平成27年9月定例会開会。「知事の宣伝の場」として、自民は、本会議場で知事答弁を求めず無視。不毛なバトルを執拗に続けている。

平成28年度予算案を審議する予算特別委員会でも自民議団は知事の答弁機会を極端に減らす要綱改正を4会派の反対押しのけ強行した。

第11回 文化フォーラム 第16回 県政報告会 あさのめ

第16回 県政報告会 浅野目 義英（あさのめ・よしひで）

「万機公論に決すべし」県議会はこれでいいのか

山形県米沢市育ち。
法政大学社会学部卒。小学校教員を経る。
さいたま市隣接の上尾市で全国最年少の25歳で市議初当選。地縁血縁の無い中で市議連続4期当選（25～41歳）。37歳で全国最年少議長。上尾市長選挙次点敗退。予備校講師、鮪丼屋でひたすらマグロを切る仕事、武正公一代議士政策秘書など、政治浪人7年余を経る。
2007年、埼玉県議会議員トップで初当選。2015年、埼玉県議会議員トップで3期目当選。
埼玉県庁の中に6,400㎡の緑の広場をつくらせる、全盲の中学校教師を現場に戻す、硫黄島から帰還するご遺骨を入間航空基地で知事に出迎えをさせるなど、必ず成果を上げる実力派県議として知られる。

第11回 文化フォーラム 菅 克己（すが・かつみ）

「間違いだらけの地震対策」
人の命を守るために　あなたが生き残る必要があります

神戸が発祥の地である川崎製鉄（現JFE）。その社員として現地赴任中に兵庫県南部地震（阪神淡路大震災）が発生、被災。被災地に支援物資を届けるボランティア活動中様々な問題点を把握。減災対策が全く不充分だと危機感を持つ。自治体の防災政策を充実させるため市議1期、県議3期を務める中で、防災研究機関の客員研究員としても活動。
上田知事も認める県議会のミスター防災。
昨年の衆院選に惜敗。危機管理士、防災士の立場から発生の可能性が高まっている関東直下型の巨大地震に一人でも犠牲者を減らすための講演活動を繰り返している。
講演回数は延べ70回を超える。

初冬の会（懇親会）

文化フォーラム・県政報告会の終了後、参加者のみなさま方が懇親を深めていただく機会を設けさせて頂いています。

文化フォーラム & 初冬の会（懇親会）

日時　2018年 平成30年 11月22日（木）

受付 18時～　開演 18時半～20時45分

会場　浦和ロイヤルパインズホテル
【4階】ロイヤルプリンセス・ロイヤルクラウン
●さいたま市浦和区仲町 2-5-1 ●048-827-1111

会費　10,000円
※誠に心苦しいのですが時節柄お許し下さいませ。なお、いい夫婦の日にちなみ、ご夫婦でのご来臨の場合、お二人様で15,000円とさせていただきます。

あさのめ活動報告2018. 6月～

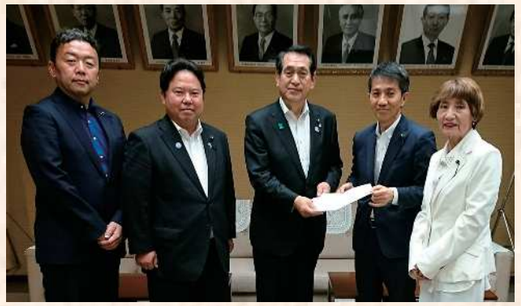
【議会活動の報告をすることは当然の義務です】
埼玉会館で、「第15回あさのめ県政報告会」を開催しました。

【流れゆく時代。被爆の記憶を次世代へ継承する】
埼玉県原爆死没者慰霊式に参列しました。
埼玉県にも原爆被爆者は少なくない数いらっしゃいます。今年亡くなられた76柱が加えられ、1529柱の原爆死没者名簿が奉納されました。
被爆者健康手帳の所持者は、県内に1792人。

【青年が動けば時代は変わる】
バーベキュー大会に、参加させていただきました。
一段落して、青年部のみなさんと写真撮影。

狭山茶の試飲会に参加しました。
県でも二番茶を活用した抹茶の研究を始めているようです。

北は北海道宗谷岬から南は沖縄までを、自転車にまたがりリレー形式で縦走しながら、平和を訴える青年たち。埼玉県庁に来訪されました。


各会派代表者と『議会改革の推進を求める要望書』を議長に提出しました。

上田知事へ『要望書』を提出しました。

今年も、うらわおどりに参加しました。

虐待死は高い水準で推移しています。
悲惨な児童虐待を根絶するために、
知久・福祉部長へ『要望書』を提出しました。

「アジアを代表する最先端の
航空機エンジン事業の拠点」が巨大な
スケールで、埼玉県に整備されます。
先立ち、新潟市航空産業立地推進室を
調査しました。

【5か月も経ちやっとこさ　世界の二人に彩の国功労賞】
設楽悠太選手(マラソン男子日本記録保持者)、
村岡桃佳選手(平昌冬季五輪で5個のメダル獲得)に、
県議会各会派代表でお祝いをしました。

お世話になっている団体の集会で花束を頂戴する。

敬老の日に。健康長寿！幸福長寿！

テレ玉『こんにちは県議会です　各会派代表者に聞く』に出演。
埼玉県議会、埼玉県政、時代認識などについて、
お話しをさせて頂きました。

5か月も経ち、やっとこさ　世界の2人に『彩の国功労賞』

【村岡桃佳選手】
埼玉県深谷市出身。
2018平昌パラリンピック開幕式日本選手団旗手。アルペンスキー女子滑降（座位）で銀。
スーパー大回転（座位）で銅。
スーパー複合（座位）でも銅。
日本アルペン勢で最多となる1大会で3個のメダル獲得。
大回転（座位）では金。これで1大会で金銀銅全メダル獲得を達成。最終日には、回転（座位）で銀。
冬季パラリンピック大会で日本選手最多1大会5個のメダル獲得となった。

【設楽悠太選手】
埼玉県寄居町出身。
2018年2月25日、東京マラソン2018で、３度目のマラソンとは言え2時間6分11秒をマークし、総合2位・日本人トップに入る。
マラソン日本男子記録を、何と16年ぶりに5秒も更新した。
さらにマラソン日本記録更新の報奨金1億円と、マラソングランドチャンピオンシップ（2020年東京オリンピック男子マラソン選考会）の出場権も獲得した。
HONDA所属。

こちらも不毛なバトルで

これまで、上田知事をはじめとした行政の総合的な判断の下、決められてきた「彩の国功労賞」でしたが、自民が仕掛ける不毛なバトルで、今年度から県議会の同意が必要になりました。（この案に自民＋改革が賛成、他全員反対）

当初から予見されていましたが、県議会は年四議会（2月、6月、9月、12月）のため、即応性に欠ける結果となり、タイミングがズレまくった授賞式になりました。7月19日、5か月遅れでようやく世界で活躍する2人の功績を讃えることができました。

多くの県民は、本来歓迎されるべきこの賞のスピード感を、疑問視しています。

また、9月定例県議会で提案されたサッカーワールドカップロシア大会で活躍した日本代表前監督の西野朗氏などへの「彩の国功労賞」贈呈案に、自民は無意味な異議を示しています。

関係者からは、いつまで無茶な抗争が続くのかと吐息が漏れています。

選挙制度は不断の努力必要
しかし県議会改革遠のく

自民、公明、改革は、定数・選挙区現状の維持を主張。

立憲・国民、県民会議は、1人区を減らし多様な民意反映する複数区（２人以上が議席を与えられる選挙区）を増やすべき、また定数減するべきと強く主張。

来春に予定されている埼玉県議会選挙に向けて、議員定数や選挙区割りの見直しをする「検討協議会」が10月4日、議長へ報告書を提出しました。

自民、公明、改革は現状維持を主張しました。

私が所属する立憲・国民は「埼玉県議会は一人区が異常に多い」「多様な民意を反映する複数区を増やすべき」「定数減を」などと強く主張しました。

各会派の議員定数・選挙区案

会　派	総定数	選挙区数
自民	９３	５２
公明	９３	５２
改革	９３	５２
立憲・国民	９１	４６
県民会議	８７	４２
共産	１０４	４２

知事や部長へ要望書提出

7月5日『子供の健やかな成長に影響を及ぼす子ども虐待の防止に関する緊急要望書』
7月7日『性的少数者が抱える困難解消を求める要望書』
7月7日『米軍オスプレイの米軍所沢通信基地への飛来についての要望書』

●虐待防止体制強化を要望

目黒区で5歳の女児が虐待死する悲惨な事件が発生しました。これを受け、埼玉県は8月から児童相談所が把握した虐待情報全件を県警と共有することにしました。

要望書では「高い評価をしている」とした上で、民間団体とも連携し社会全体に向けた虐待防止の啓発促進や児童相談所・市町村などの相談体制の強化、虐待を受けた子供や親に対する心のケアなどを強く求めました。

●オスプレイ離発着に抗議

7月2日、米軍輸送機オスプレイが、埼玉県に対して事前説明なしで、所沢市の米軍所沢通信基地に離着陸しました。

埼玉県基地対策協議会では国に対し、オスプレイの運用は事前に十分な説明を行うよう要請していたのに、このような事態が起きたことは、誠に遺憾としました。また、同基地周辺には、市役所や文化施設などの公共施設や病院、小中高等学校、集合住宅が立ち並んでおり、万一事故が起きた際には、人命を含む甚大な被害が予測され、日米合同委員会合意に反するものと指摘しました。

なお、8月14日、全国知事会（上田清司会長）は全会一致で、1960年以来一度も改定されていない、日米地位協定の抜本的な見直しを、日米両政府に提言しました。

●自己否定社会からの脱却を

一人ひとりがあるがままの自分でいることを否定されることなく、それぞれの多様な生き方を互いに認め合い、共に尊重しあう社会を創造することを、県に求めました。

いわゆるLGBTをはじめとする性的少数者が社会の各場面において差別的取扱いを受けることがないよう、教育分野へのアプローチとして、教職員への啓発の徹底、小学校・中学校・高校・特別支援学校の児童、生徒への啓発の推進などについて、をはじめとする6点を積極的に取組むべきと、要望しました。